

令和元年 8 月

地方自治体 環境大気監視業務 担当各位
環境大気測定機・維持管理業務 担当各位

東京都千代田区九段南 4-8-30 アルス市ヶ谷 201
公益社団法人 日本環境技術協会
会長 足立正之

環境大気常時監視技術講習会（環境省後援） の開催について（ご案内）

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

環境大気常時監視は、大気汚染防止法に基づき都道府県及び大気汚染防止法政令市に義務付けられており、これらのデータは大気環境の把握や緊急時への対処のほか、大気汚染防止対策の推進、環境影響評価等のための基礎資料として、各方面において活用されています。

当協会では、環境大気常時監視データの信頼性確保のために、常時監視に携わる方々に維持管理の要点を習得いただき、対応する技術向上等を目的として、「環境大気常時監視技術講習会」を、環境省殿のご後援のもとで開催しております。本年度は、環境省の「環境大気常時監視マニュアル（第6版）」をベースに、技術情報等を追加した「環境大気常時監視実務推進マニュアル（第3版 第3刷）」をテキストとして、自動測定機の特徴及び維持管理の要領、異常値の発見や測定データの確定手順、測定機更新時の並行試験の実施手法、及び自動測定機の測定値の評価手法等をテーマに実施いたします。

講習会を受講いただいた方には、当協会会長の技術習得修了証書を授与いたします。

今年度の注目の講習を下記に示します。常時監視の初心者から熟練者まで、納得いただけるよう努力いたしますので、是非とも受講いただきますようお願い申し上げます。

敬具

【 今年度の注目講習 】

- 環境省担当官殿より「大気環境行政における最近の動向」（事務連絡の解説を含む）
- 測定原理と内部構造の理解に役立つ、「実機講習（PM2.5計、オゾン計）」
- トラブル事例の紹介をまじえた、「測定機の維持管理」
- 新規講習「気象観測用測器の基礎」
- 新規講習「テレメータの共通仕様（デジタルテレメ）の基礎」

開 催 要 綱

1. 主催 公益社団法人 日本環境技術協会
2. 後援 環境省
3. 対象者
 - ・環境大気自動測定機による測定及び維持管理を担当する国、地方自治体の職員
 - ・維持管理（委託）業者、分析機器メーカー及び一般企業の技術者や関係者（企業等の新人研修）
4. 期日、会場、定員

会場	開催日（令和元年）	会場	定員
東京	10月24日(木)～25日(金)	飯田橋レインボービル 1階 C+D 会議室 東京都新宿区市谷船河原町 11 番地 電話 03-3260-4791	70名
神戸	10月28日(月)～29日(火)	神戸市産業振興センター 901 会議室 神戸市中央区東川崎町 1 丁目 8 番 4 号 電話 078-360-3200	70名

※会場地図は、次のページをご参照ください。

5. 受講費用（1名・2日間、消費税込み）
 - (1) 当協会の正会員 A・B・C、賛助会員 A・B・C-1
26,400 円（受講料 19,360 円 環境大気常時監視実務推進マニュアル 7,040 円）
 - (2) 当協会の賛助会員 C-2、一般
37,510 円（受講料 28,710 円 環境大気常時監視実務推進マニュアル 8,800 円）

- | |
|--|
| <p>* テキストは、「環境大気常時監視実務推進マニュアル(第3版 第3刷：2013年6月発行)」を使用します。</p> <p>* 受講料にはその他資料を含みます。</p> |
|--|

6. 申込み方法
 - (1) 協会ウェブサイト(<http://www.jeta.or.jp>)からの申込み
「試験・講習会案内」サイト内の本講習会「受講申込書」に諸事項を入力し、送信下さい。
 - (2) 本案内書の「参加申込書」による申込み
別紙の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX または E-mail によりお申し込みください。

[宛 先]	公益社団法人 日本環境技術協会 FAX 03-3263-3741 E-mail taiki_jeta@jeta.or.jp
-------	---

[締め切り] 両会場 令和元年 10 月 21 日 (月)

(注) 定員になり次第締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。

7. 受講料支払い方法

受講料の支払いは、次の銀行口座にお振込みください（受講日当日は受領できません）。

振込口座 みずほ銀行 市ヶ谷支店 普通 No. 2203278

口座名 公益社団法人 日本環境技術協会 ((シャ)ニホンカンキョウキギジュツキョウカイ)

- (注) 1. 受講申込みを受理後「受講券・請求書」(葉書)を送付致します。受講券は受講日には必ずお持ちください。
2. 受講券到着後お振込みください。振込み手数料は、申込者にて負担してください。振込みの際、貴社名の前に受講番号を記入してください。記入できない場合はそのまま貴社名でお振込みください。その際のご連絡は不要です。
3. 受講料は、地震、台風等の天災、その他不測の事故により講習会を中止した場合（これらの天災・事故により受講できなかった場合も含む。）を除き返金致しません。

8. 会場案内図

[東京会場]

[神戸会場]



- JR 総武線 飯田橋駅 西口 徒歩 6分
- 地下鉄 有楽町線/南北線 飯田橋駅 徒歩 5分
- 地下鉄 東西線/大江戸線 飯田橋駅 徒歩 9分

- JR 神戸線「神戸」駅 徒歩 5分
- 阪神電鉄「西元町」駅 徒歩 6分
- 神戸高速鉄道「高速神戸」駅 徒歩 8分
- 市営地下鉄海岸線「ハーバーランド」駅 徒歩 5分

9. 問合わせ・受講欠席等連絡先

本講習会に関するお問い合わせは、公益社団法人日本環境技術協会 事務局までお願いいたします。

[電話] : 03-3263-3755

[FAX] : 03-3263-3741

[Email] : taiki_jeta@jeta.or.jp

また、受講当日ご欠席等のご連絡も 同協会事務局までお願いいたします。

10. プログラム

*都合により、講義の順序等を変更する場合があります。

<1日目>

時間(分)	講習内容	講師等
09:30~10:00	受付	
10:00~10:10	司会, オリエンテーション 開講挨拶	(公社)日本環境技術協会
10:10~10:40 (30分)	第1章 概要、第2章 測定局	地方自治体 専門家 又は (公社)日本環境技術協会 技術委員
10:40~11:10 (30分)	第3章 3.1 共通事項、3.2 校正	(公社)日本環境技術協会 技術委員
(10分)	(休憩)	
11:20~12:00 (40分)	第3章 3.7 Ox 自動測定機	(公社)日本環境技術協会 技術委員
(50分)	(昼休憩)	
12:50~13:50 (60分)	大気環境行政における最近の動向 ※ 質疑応答 10分含む	環境省 水・大気環境局 大気環境課
(10分)	(休憩)	
14:00~15:00 (60分)	第3章 3.5 SPM 自動測定機 第3章 3.6 PM _{2.5} 自動測定機	(公社)日本環境技術協会 技術委員
(10分)	(休憩)	
15:10~16:10 (60分)	実機講習(A班): Ox 自動測定機 実機講習(B班): PM _{2.5} 自動測定機	(公社)日本環境技術協会 技術委員
(10分)	(休憩)	
16:20~17:00 (40分)	第3章 3.3 SO ₂ 自動測定機	(公社)日本環境技術協会 技術委員

<2日目>

時間(分)	講習内容	講師等
09:00~09:30	受付	
09:30~10:10 (40分)	第3章 3.4 NO _x 自動測定機	(公社)日本環境技術協会 技術委員
(10分)	(休憩)	
10:20~11:00 (40分)	第3章 3.8 CO 自動測定機 第3章 3.9 NMHC 自動測定機	(公社)日本環境技術協会 技術委員
(10分)	(休憩)	
11:10~12:00 (50分)	第4章 測定機の維持管理	(公社)日本環境技術協会 技術委員
(50分)	(昼休憩)	
12:50~13:50 (60分)	実機講習(A班): PM _{2.5} 自動測定機 実機講習(B班): Ox 自動測定機	(公社)日本環境技術協会 技術委員
(10分)	(休憩)	
14:00~14:20 (20分)	新規講習 第3章 3.10 気象観測用測器の基礎	(公社)日本環境技術協会 技術委員
14:20~14:40 (20分)	新規講習 第5章 テレメ共通仕様の基礎	(公社)日本環境技術協会 技術委員
(10分)	(休憩)	
14:50~15:30 (40分)	第6章 測定値の確定及び管理	地方自治体 専門家
(10分)	(休憩)	
15:40~16:00 (20分)	第7章 並行試験実施手法 第8章 精度管理/一致性評価	(公社)日本環境技術協会 技術委員
(10分)	(休憩)	
16:10~16:40 (30分)	質疑応答	講師全員
16:40~16:50	閉講挨拶、修了証書授与	(公社)日本環境技術協会